

## 博物館教育論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

1. 次に掲げる博物館教育関係法規類等について①～⑩内に適切な語句を入れなさい。

(各2点)

博物館の設置及び運営上の望ましい基準

(平成23年12月20日文部科学省告示第165号)

(学習機会の提供等)

第8条 博物館は、利用者の(①)又は調査研究に資するため、次に掲げる業務を実施するものとする。

- 一 博物館資料に関する各種の講演会、研究会、説明会等((②)又は生徒を対象として(③)その他の学習活動を行わせる催しを含む。以下「講演会等」という。)の開催、館外(④)の実施等の方法により学習機会を提供すること。
- 二 学校教育及び社会教育における(⑤)の利用その他博物館の利用に関し、学校の(⑥)及び(⑦)に対して適切な利用方法に関する(⑧)その他の協力を行うこと。
- 三 利用者からの求めに応じ、博物館資料に係る説明又は助言を行うこと。

小学校学習指導要領(社会編)(平成20年3月28日公示)

(指導計画の作成と内容の取扱い)

指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(⑨)や(⑩)等の施設の活用を図るとともに、身近な地域及び国土の遺跡や文化財などの観察や調査を取り入れるようにすること。

2. 下記の文を読み、正しいものに○、正しくないものに×を記入しなさい。

(各2点)

- (1) 小学校学習指導要領(理科編)においては、博物館や公民館などと連携、協力を図りながら、それらを積極的に活用するように配慮することが記載されている。

- (2) 小学校社会科の教科用図書において、博物館活用について記載されている学年は、6 学年の歴史学習だけである。
- (3) 博物館と学校とをつなぐ人材は、自然観察インストラクターなどと同義的な立場でのインタープリター（和訳：通訳者）としての役割が期待されている。
- (4) 平成19年に示された「新しい時代の博物館の在り方について」に記載されている、学芸員に求められる専門性の中には、高いコミュニケーション能力について取り上げられている。
- (5) 平成23年度に文部科学省から出されたパンフレット「これからの博物館」の、1 広がる博物館活動においては、博物館が地域の学習拠点として、子どもたちへの参加体験型の学習機会の提供を行っていることを紹介している。

3. 次の(A)～(E)の文章のうち、それぞれ正しいものの記号1つを選びなさい。

(各2点)

(A)

- ① 社会教育法第9条で、博物館は社会教育のための機関と定められている。
- ② 博物館法第4条で、博物館は文化施設と定められている。
- ③ 博物館法施行規則第1条で、博物館は教育・文化施設と定められている。

(B)

- ① アンドラゴジーとは学校教育のことである。
- ② アンドラゴジーとは成人教育のことである。
- ③ アンドラゴジーとは子どもの自然体験のことである。

(C)

- ① 登録博物館がワークシートを作成するときには、著作権法は適用されない。
- ② 登録博物館がワークシートを作成するときには、部数や出所の明示などの条件を満たせば著作者の了解を得ないで著作物を利用できる。
- ③ 登録博物館がワークシートを作成するときには、全て著作者の了解を得なければならない。

(D)

- ① コメニウスは、ルソーとともに博物館教育論を展開し、学校教育に偏った当時の教育界に警鐘を鳴らした。
- ② コメニウスの著書には、「大教授学」「世界図絵」などがある。
- ③ コメニウスは、博物館教育には興味を持ったが、学校教育には関心を示さなかった。

(E)

- ① M (Museum) L (Laboratory) A (Art center) のシステム化は、地域を実験場に新たな教育活動を展開する提案である。
- ② M (Museum) L (Listen) A (Artist) の連携は、地域の博物館が地域の芸術家の感性や意見を取り入れ学校教育の活性化を図る提案である。
- ③ M (Museum) L (Library) A (Archives) の連携は、博物館の教育活動を進めていくときにも重要な視点である。

4. 博学連携の意味について説明した後に、実際に取り組んでいる博物館名をあげ、その具体的な事例及び成果と課題を示すとともに、これからの博学連携のあり方について自分の考えを400字以内で述べなさい。(自分が関係した博物館を除く。)(30点)

5. 多くの博物館のキャプションが子どもから大人まで同じものとなっていることについて、来館者が展示資料を理解しやすいように教育的に改善する方法について400字以内で具体的な提案をなさい。(30点)